



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月8日
上場取引所 東

上場会社名 アイダエンジニアリング株式会社

コード番号 6118

URL <http://www.aida.co.jp>

代表者(役職名) 代表取締役社長

(氏名) 会田 仁一

問合せ先責任者(役職名) 取締役常務執行役員

管理本部長 (氏名) 増田 健

(TEL) 042-772-5231

四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	56,861	1.3	6,454	4.7	6,939	6.9	4,706	5.7
27年3月期第3四半期	56,114	12.7	6,166	28.6	6,490	23.1	4,451	5.2

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,713百万円(△50.6%) 27年3月期第3四半期 7,519百万円(13.7%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	76.33	76.12
27年3月期第3四半期	72.47	72.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第3四半期	105,604	69,036	65.2	1,117.02
27年3月期	105,126	67,254	63.8	1,088.96

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 68,891百万円 27年3月期 67,104百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	—	—	30.00	30.00
28年3月期	—	—	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	円 銭
通期	78,000	1.4	7,900	0.5	8,700	6.0	6,000	△3.3
								97.31

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は添付資料4ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項」の「(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	28年3月期3Q	73,647,321株	27年3月期	73,647,321株
② 期末自己株式数	28年3月期3Q	11,973,198株	27年3月期	12,024,268株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	28年3月期3Q	61,655,754株	27年3月期3Q	61,428,729株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9
4. 補足情報	10
(受注の状況)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における世界経済については、米州経済が堅調に推移する等先進国は緩やかな回復を辿りましたが、中国や一次産品輸出国を中心に新興国経済が減速しており、全体として回復ペースは鈍化するとともに、原油価格下落や地政学的リスクの増大等により、下振れリスクが拡大している状況です。国内経済については、円安をはじめ、順調な北米市場や、インバウンド消費等に支えられ企業業績が順調に推移する反面、中国を中心とした新興国経済の減速のあおりで国内企業の収益の伸びは鈍化傾向にあり、先行きの不透明感が強まっている状況です。

鍛圧機械製造業界におきましては、国内向け受注は4.6%増加しましたが、海外向けは13.8%減となった結果、当第3四半期連結累計期間の受注は前年同期比5.2%減の115,030百万円（一般社団法人 日本鍛圧機械工業会 プレス系機械受注額）となりました。

このような状況の下、当社グループは前連結会計年度よりスタートした中期経営計画(平成27年3月期～平成29年3月期)において、「環境・省エネをモノづくりから支えるグローバル先進企業として深化・追求する」というビジョンのもと、①更なる事業拡大を実現する基盤の構築、②グローバル市場におけるトップブランドの確立、③素形材成形の新技術追求、という3つの重要指針を掲げ、事業基盤の強化と収益拡大に取り組んでおります。当第3四半期連結累計期間においては、人財強化や生産能力向上等、事業基盤強化に努めるとともに、販売面ではグループ各社がグローバルに連携し、海外搬入案件の受注獲得に傾注してまいりました。

当第3四半期連結累計期間の受注高は、日本及び欧州での伸びが寄与し、64,037百万円（前年同期比10.8%増）となり、受注残高は前連結会計年度末の51,934百万円より大幅に増加し59,109百万円（前連結会計年度末比13.8%増）となりました。売上高につきましては、アジアにおけるプレス機売上の増加が寄与し、56,861百万円（前年同期比1.3%増）となりました。利益面では、原価率改善、円安効果等により営業利益は6,454百万円（同4.7%増）となりました。営業外収益として為替差益を363百万円計上したことにより経常利益は6,939百万円（同6.9%増）となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は4,706百万円（同5.7%増）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

- 日 本： 輸出を含め自動車関連向け中・大型プレス機の売上減少を、高速精密機や汎用機の売上増加がカバーし、売上高は33,411百万円（前年同期比0.2%減）となりましたが、減価償却費等の経費増加により、セグメント利益は3,700百万円（同6.8%減）となりました。
- アジア： 自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準売上や汎用機の域外輸出増加等により、売上高は16,437百万円（前年同期比22.0%増）となり、セグメント利益は増収効果と原価低減等により2,059百万円（同114.7%増）となりました。
- 米 州： 自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準売上の減少により、売上高は14,038百万円（前年同期比25.1%減）となり、減収等によりセグメント利益は976百万円（同22.1%減）となりました。
- 欧 州： 自動車関連向け中・大型プレス機の工事進行基準売上等の減少により、売上高は11,024百万円（前年同期比1.4%減）となり、原価率悪化によりセグメント損失は352百万円（前年同期はセグメント利益74百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

財政状態の分析

(資産)

当第3四半期連結会計期間末の資産は前連結会計年度末に比べて477百万円増加し、105,604百万円となりました。主な要因は、現金及び預金の減少987百万円、受取手形及び売掛金・電子記録債権の増加536百万円、有形固定資産の増加1,943百万円、投資有価証券の増加601百万円であります。

(負債)

負債は、前連結会計年度末に比べて1,304百万円減少し、36,567百万円となりました。主な要因は、買掛金・電子記録債務の減少2,091百万円、未払金の増加928百万円、短期借入金の増加2,874百万円、前受金の減少1,481百万円、圧縮未決算特別勘定の減少866百万円であります。

(純資産)

純資産は、前連結会計年度末に比べて1,782百万円増加し、69,036百万円となりました。主な要因は、利益剰余金の増加2,755百万円、その他有価証券評価差額金の増加334百万円、為替換算調整勘定の減少1,539百万円であります。この結果、当第3四半期連結会計期間末の自己資本比率は65.2%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年11月10日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日)、「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日)及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	22,868	21,881
受取手形及び売掛金	22,585	22,971
電子記録債権	242	393
有価証券	7,200	7,200
製品	2,504	2,387
仕掛品	9,318	9,584
原材料及び貯蔵品	2,705	2,789
繰延税金資産	1,434	938
その他	5,824	4,573
貸倒引当金	△69	△110
流動資産合計	74,614	72,608
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	21,850	21,856
減価償却累計額	△14,161	△14,386
建物及び構築物(純額)	7,688	7,470
機械装置及び運搬具	11,108	12,712
減価償却累計額	△6,807	△6,562
機械装置及び運搬具(純額)	4,300	6,149
土地	5,102	5,083
建設仮勘定	1,524	1,855
その他	2,767	2,800
減価償却累計額	△2,149	△2,182
その他(純額)	617	617
有形固定資産合計	19,233	21,177
無形固定資産	1,121	1,041
投資その他の資産		
投資有価証券	5,804	6,405
保険積立金	3,488	3,355
退職給付に係る資産	519	603
繰延税金資産	162	190
その他	208	280
貸倒引当金	△27	△57
投資その他の資産合計	10,156	10,777
固定資産合計	30,511	32,995
資産合計	105,126	105,604

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	9,930	7,456
電子記録債務	2,769	3,151
短期借入金	391	3,265
1年内返済予定の長期借入金	500	—
未払金	1,212	2,140
未払法人税等	1,182	800
前受金	10,799	9,318
製品保証引当金	1,479	1,239
賞与引当金	1,096	624
役員賞与引当金	58	36
受注損失引当金	80	82
圧縮未決算特別勘定	1,224	357
その他	2,604	2,831
流動負債合計	33,328	31,306
固定負債		
長期借入金	1,000	1,500
長期末払金	424	505
繰延税金負債	2,441	2,595
株式給付引当金	200	227
退職給付に係る負債	102	93
その他	373	339
固定負債合計	4,543	5,260
負債合計	37,871	36,567
純資産の部		
株主資本		
資本金	7,831	7,831
資本剰余金	12,415	12,416
利益剰余金	44,951	47,706
自己株式	△5,188	△5,166
株主資本合計	60,008	62,787
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,056	3,390
繰延ヘッジ損益	△211	28
為替換算調整勘定	3,754	2,214
退職給付に係る調整累計額	496	469
その他の包括利益累計額合計	7,096	6,103
新株予約権	149	145
純資産合計	67,254	69,036
負債純資産合計	105,126	105,604

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	56,114	56,861
売上原価	43,251	43,100
売上総利益	12,862	13,760
販売費及び一般管理費	6,695	7,306
営業利益	6,166	6,454
営業外収益		
受取利息	91	65
受取配当金	92	118
養老保険満期償還益	28	28
為替差益	176	363
その他	79	75
営業外収益合計	466	652
営業外費用		
支払利息	27	29
その他	114	138
営業外費用合計	142	167
経常利益	6,490	6,939
特別利益		
固定資産売却益	1	3
受取保険金	194	—
特別利益合計	195	3
特別損失		
固定資産売却損	0	2
固定資産除却損	45	13
その他	0	—
特別損失合計	46	16
税金等調整前四半期純利益	6,639	6,926
法人税、住民税及び事業税	1,605	1,679
法人税等調整額	583	541
法人税等合計	2,188	2,220
四半期純利益	4,451	4,706
親会社株主に帰属する四半期純利益	4,451	4,706

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	4,451	4,706
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36	334
繰延ヘッジ損益	△149	239
為替換算調整勘定	3,183	△1,539
退職給付に係る調整額	△3	△27
その他の包括利益合計	3,067	△993
四半期包括利益	7,519	3,713
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,519	3,713

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	17,124	11,967	18,054	8,967	56,114	—	56,114
セグメント間の内部売上高 又は振替高	16,344	1,510	697	2,215	20,768	△20,768	—
計	33,468	13,478	18,752	11,183	76,882	△20,768	56,114
セグメント利益	3,969	959	1,253	74	6,257	△90	6,166

(注)1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント					調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額(注)2
	日本	アジア	米州	欧州	計		
売上高							
外部顧客への売上高	19,539	13,342	13,450	10,529	56,861	—	56,861
セグメント間の内部売上高 又は振替高	13,872	3,094	588	494	18,050	△18,050	—
計	33,411	16,437	14,038	11,024	74,911	△18,050	56,861
セグメント利益 又は損失(△)	3,700	2,059	976	△352	6,383	71	6,454

(注)1 売上高の調整額はセグメント間取引高の消去額であり、セグメント利益又は損失の調整額はセグメント間取引消去に伴う調整額であります。

2 セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 補足情報

(受注の状況)

当第3四半期連結累計期間の受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメントの名称	受注高		受注残高	
	金額 (百万円)	前年同期比 (%)	金額 (百万円)	前年同期比 (%)
日本	24,737	51.4	21,981	15.1
アジア	12,149	△30.7	11,905	△23.1
米州	13,851	△17.9	12,298	△22.0
欧州	13,299	88.4	12,923	30.7
合計	64,037	10.8	59,109	△1.9

(注) 1. セグメント間取引については、相殺消去しております。

2. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。